

安楽寺だより 第56号

〒105-0014 東京都港区芝1丁目12-18 電話: 03-3451-1509 FAX: 03-3798-2238

発行者: 藤澤 克己 (安楽寺住職) ホームページ: <http://www.anraku-ji.org/>

(安楽寺だよりは1月・4月・7月・10月に発行します)

ようやく涼しくなりました

みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

今年の夏の暑さは異常でした。8月には気温35度を超える猛暑日が続き、東京の9月の最高気温の月平均が初めて30度を超えたそうです。

「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったもので、9月に入っても陽射しが強く蒸し暑い日が続いていたのに、お彼岸を境に一気に涼しくなり、秋らしさを感じられるようになりました。

夏を象徴する入道雲は姿を消し、うっすらしたうろこ雲やひつじ雲の浮かぶ上空は青く澄み渡っています。栗や柿など秋の味覚を楽しめるようになり、木々の葉は色づき始める気配です。

さわやかな空気に誘われて、秋らしさを感じにお出掛けしてみませんか。



過ごしやすい季節になりましたが、よくよく考えてみると、「私にとって」という前提がついているようです。激しい寒暖差で体調を崩しやすい人や稲アレルギーを持つ人にとっては辛い季節かもしれません。

人は誰でも知らず知らずのうちに自己中心的になりがちですから気をつけましょうと教えてくれるのが仏法、浄土真宗の教えです。11月10日は浄土真宗を開かれた親鸞聖人のみ教えを聴かせていただく安楽寺の報恩講です。どうぞお参りください。

《あれこれ抄》

▼秋の「安楽寺だより」をお届けします▼スポーツの秋です▼大谷翔平選手が日本人初のアメリカ大リーグ本塁打王になり日本では記念切手が発行されることになりました▼バスケットボール、バレーボール、ラグビーと国際試合が続き日本チームの活躍に胸が踊ります▼視覚を使わずに日常生活のさまざまな場面を体験する「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」という催しに初めて参加しました▼真つ暗闇の中で音と手足の感触を頼りに過ごす時間は不思議です▼参加者が自然と互いに助け合うようになるのも新鮮でした▼寺のリーフレットを新しくしました▼「ご縁」を大切にするとしてこれまで縁のなかった方々にも安楽寺を知ってもらえたらと思っています

秋彼岸にようこそお参りくださいました

秋のお彼岸は秋分の日(今年は9月23日)を中日とする一週間です。

太陽が真東から昇り真西に沈む秋分の日こそ、西の彼方にあるお浄土に思いを馳せ、祖先を敬い、亡くなった人々を偲び、仏さまに感謝の気持ちを伝えるのに最も相応しい時期とされています。



秋のお彼岸の頃、安楽寺のお墓にお参りする方がたくさんいらっしゃいました。色とりどりのお花が供えられ、安楽寺墓地は一気に華やぎます。お中日の9月23日には本堂で彼岸会法要をお勤めし、お正信偈を讀誦しました。

秋彼岸にようこそお参りくださいました。

《季節の思い出》



築地本願寺では「日本一美味しいエコな盆踊り」が開催され多くの人で賑わいました(8月)



各地で復活した花火大会に元気づけられました
多摩川河川敷・調布市花火大会の様子です(9月)



夏が終わろうとする頃、秋らしい雲が夕焼けで赤く染まって見えました(9月)



あまりの高温で金魚が全滅して悲しんでいたところ
水草についた卵から稚魚が生まれてくれました(10月)

前住職の一周忌法要をお勤めしました



昨年に亡くなった父であり安楽寺前住職の一周忌法要を家族と甥・姪らが集まってお勤めし、父の思い出話にも花を咲かせました。あつという間の一年だった気がします。

安楽寺で行っている特徴的な取り組みのいくつかは、父のアイディアで始まりました。ご法事の際に皆さんの集合写真を撮ってお渡しすること、伝道掲示板に月々の言葉を掲げること、スズムシを育ていのちの尊さをお伝えすること、などです。これからも続けていこうと思います。



父から引き継いで育てているスズムシの音色を、地元の老人会の方々に楽しんでいただきました(8月)

関東大震災から100年の節目「港区・継承プロジェクト」 Learn For “Tomorrow”

今年は1923(大正12)年9月1日に発生した関東大震災から100年の節目にあたります。港区では「関東大震災100年継承プロジェクト」という催しが9月2日に開催されました。

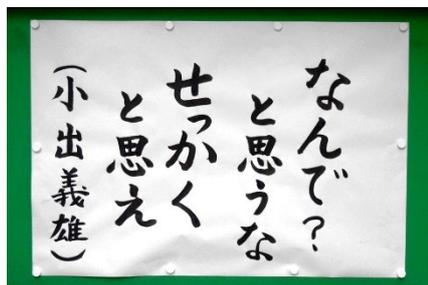


住職は消防団員として「防災を学ぶ日」のパネル展示会場内で案内役を勤めました。会場には震災後の火災発生と延焼の様子を示す古地図が展示されており、安楽寺近くで出火した事実が分かりました。

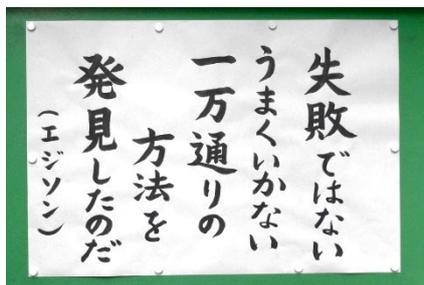
防災意識を高めて災害に備えられるよう気持ちを引き締め直したところです。

月々の言葉 ～安楽寺 伝道掲示板から～

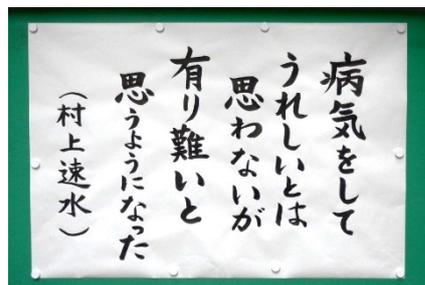
お寺の入り口に、その時々々の伝道の言葉を掲げています。



2023年8月



2023年9月



2023年10月

令和5年の安楽寺報恩講について

安楽寺では毎年11月10日に親鸞聖人を偲びご恩に報謝する「報恩講」をお勤めします。今年の報恩講は、以前のようにみなさんにお参りいただきたいと思っています。芝組法中に出仕していただき、ご講師の法話をお聴きする従来のスタイルに戻します。是非ともご都合をつけてお参りください。

日時：11月10日(金) 午後2時～

お勤め：正信偈 (住職+芝組法中)

ご法話：渡邊元綱氏 (芝組 當光寺)

※お斎(お食事)はありません。また開始時間を2時からに変更します



安楽寺総追悼法要のお知らせ

- 来たる12月24日(日)の午後に、この一年間にお亡くなりになった方を偲ぶ安楽寺総追悼法要を行います。
- ご縁のある方々に声を掛けさせていただきます。該当される方には11月中旬頃に改めてご連絡いたします。



「定例法話会」の今後の予定 (毎月第3日曜日 午後2時～)

伝道掲示板の言葉をもとにお話させていただきます。どなたでもご参加ください。

10月15日(日) 11月19日(日) 12月17日(日)